

60th
町制施行60周年



湯沢町
60年の歩み





Prologue

町制施行60周年にあたり



湯沢町長
田村 正幸

た。さらには、この60年の間に、都市計画湯沢駅前土地区画整理事業、城平線街路新設事業、下水道整備、町営住宅建設、農業の基盤整備、保健医療センターの建設など様々な環境整備を進め、町民の皆様とともに生活基盤の向上、福祉の増進等に取り組みま

べき多くの課題を抱えており、行政需要も複雑多様化するなど、我々の果たすべき役割はますます大きくなっております。また、今年には地方創生元年でもあります。自治体それぞれが持つ魅力をアピールしていく節目の年でもあります。

我がふるさと湯沢町は、昭和30年3月31日湯沢村・神立村・土樽村・三根村・三國村が合併し誕生しました。当時を振り返れば交通条件も悪く、特に冬期になれば雪深く交通も途絶えるような状況であり、湯沢町の発展は雪との戦いでもありました。やがて二国トンネル開通を契機とした国道17号線の整備により道路除雪が開始され、交通の利便性向上とともに町は画期的な発展を遂げてまいりました。

また、教育におきましては、昨年、140年有余の歴史を誇る5校の小学校を統合した湯沢小学校と、統合して半世紀の歴史を刻んだ湯沢中学校とで小中一貫教育をスタートさせ、新たな歴史の歩を踏み出しました。そして、このたび、認定こども園が完成し、全国でも初めてのケースと言われる施設一体型「保小中一貫教育（湯沢学園）」が来年4月に実現しようとしていきます。次世代を担う子供たちの教育環境を整備され、健やかな成長が図れるよう、思いを新たにしてまいります。

昭和42年の上越新線開通、昭和57年の上越新幹線越後湯沢駅乗り入れ、昭和60年の国越自動車道湯沢インター開通により、湯沢町は多くのお客様が訪れる新潟県の表玄関として発展し、今日の観光基盤の基礎が築かれまし

現在の社会経済情勢は、国際化・情報化・高齢化が急速に進行しております。このような時代に、本町においては、人口減少対策や財政課題等、克服す

結び、町民の皆様としてこれまで地域の自治・発展にご尽力いただいた皆様に対し、改めて深く感謝を申し上げますとともに、今後の湯沢町の発展に「一層の支援と協力をお願い申し上げます。



Prologue

町制施行60周年を迎え、 新たな前進を



湯沢町議会議員
南雲 正

の支えによるものと深く感謝申し上げます。

しかしながら、社会情勢の急激な変遷による日本経済の低迷と少子高齢化の波は、スキー観光を中心とした観光客の減少へとつながり、我が町の観光経済にも多くの影響をもたらし、34年間続いた地方交付税不交付団体の幕を閉じ、町政運営も厳しい状況に直面を求められています。

昭和30年3月31日、湯沢村、神立村、土樽村、三保村、三田村の五ヶ村が合併し、新制湯沢町が誕生して60年、人生でいえば還暦という節目の年を迎えました。

田園風景の広がるスキーと温泉の町は、高速交通体系の整備という恩恵を受け、豊かな自然環境を生かし、スキー観光を中心にも100万人の観光客が訪れる世界に誇るリゾート地へと発展を遂げてまいりました。

これらとともに、先人の皆様方の並かならぬ努力と、町民の皆様方のよきと地元の発展を願う、熱い思い

この記念すべき節目の年を迎え、私たちは湯沢町議会は「信頼される、開かれた議会」を目標に、町民の皆様の代表代弁者であることを自覚し、「地方創生元年」を的確に捉え、幼保、小中一貫教育校湯沢学園のスタートを道筋として、更なる町政の発展と町民意識に定められた「脱かで明るく住みよい、文化の香り高い町」を、みんなの力を合わせていく先導役として邁進することを約束させていただきます。ご挨拶いたします。



湯沢町の新たな学び舎

湯沢学園

平成27年12月に完成した「湯沢学園」は
保・小・中一貫教育の場であるとともに

地域住民参加型の教育の実現を目指した

コミュニティ・スクールでもあります。

次代の湯沢を担う子ども達のために
地域ぐるみで協力してまいります。



建設中も園様

湯沢学園歌

作詞 工藤和久
作曲 西原隆夫

一 雪解けの路 群いて
若草吹く 越の山
小鼓のうたとすり 出逢く
希望の翼をはためず
笑いと華ぶ 湯沢の子
誇り共に 夢ひかる

二 黄金の稲穂 きらびいて
秋穂ゆれる 湯野原
空を渡る空 天高く
みんなの心を 輝とめる
明るい笑顔 湯沢の子
豊かな未来 花びらて

湯沢小学校歌

作詞・作曲 湯野原

一 流かな自然に つつまれて
きれいな流れ 湯野川
さわやかな空気がさる
美しくもなほうまほう
未来をますぐりゆきわ小学校
希望にかがやくゆきわ小学校

二 緑おりなす山間に
コヌモスおる田んぼ道
白風のゆき草 湯野山
奥にあゆもう歩もう
希望にかがやくゆきわ小学校

※この小学校の校歌は湯沢学園に併設する小学校の校歌として採用される。

湯沢中学校校歌

作詞 長瀬千志
作曲 林 隆夫

一 さかちる風は流りて
山吹の音晴れゆく
流山も水草そよぐて
山の香ゆたかにみのも
輝かな山はわが天
いざ われら身体鍛えて
たのしく集う広き自然に

二 清きもの 雪どけりて
学び舎の四方にふりつじ
雪まふれ つもれぬたに
しずかなも湯沢の里に
白銀の雪はわが天
いざ われらにはほみで
たのしく集う広き世界に
はげみて争ふあ湯沢中学



地域交流センター



可民にも開放された図書室



癒しのスペースいろりの間



電子黒板付き教室



学びのシンボル塔の広場



学年ごとの共有オープンスペース



屋内プール



保健室



校務センター



家庭科室



数科教室



第一体育館

町の子育てを総合的に支援する認定こども園



廊下



トイレ



保育室



ほふくコーナー



2階遊戯室



クライミングウォール

学び舎の記憶

かつての学び舎の記憶をたどり、
60年という時に思いをめぐらせる



つばき保育園(昭和57年4月～平成26年3月)



土樽保育園(昭和53年4月～平成28年3月)



神立保育園(昭和55年4月～平成28年3月)



湊沢保育園(昭和56年4月～平成28年3月)



中央保育園(昭和49年4月～平成28年3月)

【三国小学校】

校歌

一 英路の南 景現
 りりしくまきも 三國山
 史蹟豊かな ふもと路に
 つづく白樺 影流し
 清津の流れ 遡みわたる
 自然の恵み 身にうけず
 育つわれらの 三國校



旧三國校舎



旧三國校舎



三國小学校校舎(平成元年6月～平成26年3月)

【三俣小学校】

校歌

一 明るく春の ぶな若草
 みんなのゆめが 燃えている
 実りの秋に すすすすと
 若い力が のびていく
 われら三俣 元氣な子
 光の中に 手をつなぎ
 力のかさなり 走らうよ



旧三俣小学校校舎(大正12年6月～昭和56年12月)



三俣小学校校舎(昭和66年1月～平成26年3月)



神立小学校校舎(昭和53年4月～平成26年3月)

【神立小学校】

校歌

一 朝の光のうせらかに
 板士の峰にさし初め
 静かに清く明ける里
 小鳥も啼いてる岡の辺に
 今日も学びの鐘が鳴る
 神立校の小学生
 仲よく楽しく学ぼうよ



旧神立小学校校舎(昭和6年～昭和53年3月)

【土樽小学校】

校歌

一 東洋一と名にしあやう
清水の山はうつきれて
文化のはなを、ここに咲か
ひらけどつきぬ 山の宮



旧土樽小学校校舎(明治41年10月～昭和54年3月)



土樽小学校校舎(昭和54年4月～平成26年3月)

【湯沢小学校】

校歌

一 さたぐにのよきゆざわに
めぐりくる
きよつどい、うあたらしき日よ
きよつよ
きよつこ年学ばめ
かがやける
きよつとどらえよ



旧湯沢小学校校舎(昭和2年11月～昭和54年11月)



湯沢小学校校舎(昭和54年12月～平成26年3月)

【湯沢中学校】

校歌

一 さやかなる風は薫りす
山嵐のき露時れゆく
荒山も木草そよぎて
山の幸ゆたかにあのみ
緑なす山はわが友
いざ、われら身体鍛えて
たのしく集う成り自然に
したしく学ばあま湯沢中



湯沢中学校校舎(昭和37年3月～平成26年3月)

【湯沢高等学校】

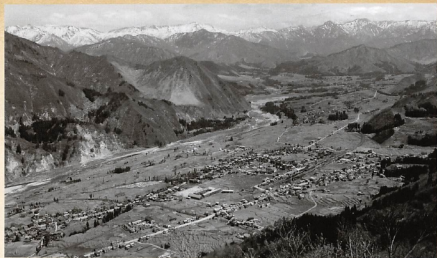
校歌

一 湧える大音 清輝山
湧き水音 鳥の声
千草の花に 風をえ
豊かさをみ 道の輝に
高き理想の 大空をよし
共に進まん 共に歩ばん
またよし湧き わが文よ
あゝ 湯沢 湯沢完校われら



湯沢高等学校校舎(昭和53年4月～平成20年3月)

※平成26年4月1日 5小学校校歌が町指定無形文化財に指定されました。



昭和30年 町村合併当時

湯沢町

60

The 60 years *history* of Yuzawa

年の歩み

湯沢村、柳立村、土樽村、三伏村、三國村の五ヶ村が合併してきた湯沢町。
その歴史は、高度経済成長やバブル崩壊など、良くも悪くも変化する世の中に
一喜一憂しながら、確実に歩を進めていくというものでした。
町制施行60周年、この節目の年に、湯沢町のこれまで歩んできた軌跡を振り返ってみましょう。

世の中の出米事

昭和30年

- 第二次湯山一郡内閣
- ガソリン一限帳と賃上げに関する一院協定に加入

- ロンドンで日ソ国交正常化交渉開始

- 第一回熊本厳禁止普賢大会開催
- 知事選挙、北村一男当選

- 新潟県下大六、二六六戸焼失
- 国勢調査

- 県人口 四七万二、三五四人

昭和31年

- 右衛門山内閣
- 経済白書発表（もはや戦後ではない）が流行

- 国連総会が日本の加盟を承認
- 又々動乱発生

- 日ソ国交回復（翌年再開）
- 弥生神社二年間々に修葺、死者二一人

昭和32年

- 第一次池田内閣
- 南極観測隊、昭和基地に上陸
- 東海村の原子力始動

- 五子岡札、百四座普賢を發行
- 7選が初の人工衛星打ち上げ成功

昭和33年

- 第二次岸内閣
- 一万円札を發行
- 阿蘇山大噴火、死者十二人

- 新潟でテレビ放送を開始
- 東京タワー完工

昭和34年

- 平政天皇を感戴
- 六十一年命
- 知事選挙、北村一男再選

- 国鉄新潟支社が発足



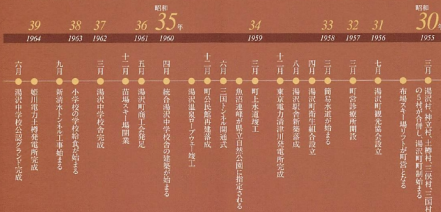
昭和34年12月 湯沢温泉ロープウェイ竣工式



昭和32年3月 町営診療所開設



昭和34年6月 三国トンネル開通式



- 昭和25年
- 第一次 第二次湯田内内閣
 - 日米通商条約が批准成立
 - 浅沼社会党委員自派就任
 - カラーテレビ放送開始
 - 政府一国民所得増進計画発表
 - 国勢調査
 - 輸入日 四億四千三百七十八
 - 輸出日 三億零九百七十九
- 昭和26年
- 国民皆保険制度が発足
 - 第二連戸台風、県内で一方三千万円全壊
 - 知事選挙、塚田十一郎当選
- 昭和27年
- 県産米改良協会米の銘柄を「新米米」と統一
 - 新潟 - 上野間(特急「とき」)走る。特別快速10分
 - 国道十七号開通
- 昭和28年
- 第二次湯田内内閣
 - ケンタイ米と三陸特産
 - 新千円札の発行
 - 二十八豪雪、〇市町村に災害救助法適用
 - N日5新聞、テレビのカラー放送開始
- 昭和29年
- 第一次佐藤内閣
 - 東海道の幹線開業
 - 第十八回オリンピック東京大会開催
 - 第十九回国民春季大会新潟で開催
 - 新潟で地産発酵生「アムニエド」
 - 72、検査船「和子」建造開始



昭和46年11月 上越新幹線新潟側起工式



昭和40年4月 合併町制施行10周年記念式典



昭和46年12月 大清水トンネル工事始まる



昭和42年8月 町役場庁舎完成



世の中の出来事

昭和40年

- 朝永振一郎氏にノーベル物理学賞
- 知事選挙 塚田十一郎再選
- 国勢調査
- 人口 三二九万八九二一人

昭和41年

- 全日本興芸団体に選定
- 死者 二二八人
- 知事選挙 巨野昭吉選
- 新潟火力発電所増設工事
- 下越地方一集中豪雨

昭和42年

- 第二次佐渡県庁内閣
- 建国記念の日を英語
- 新潟県大博覧会を開催
- 下越地方一集中豪雨
- 国民復興記念国民会館が竣工

昭和43年

- 大学競争始まる
- 明治百年記念式典を開催
- 夏五郎町中野公園に園田温泉事件
- 新潟県成氏ワグネル文学賞

昭和44年

- 国鉄ダイヤリナーが誕生
- 東京高速道路完全開通
- 原動力組むる北水
- 米宇市船アサヒ口号が月面に着陸
- 新潟県港を開港

昭和45年

- 第二次佐渡県庁内閣
- 大塚で万国博覧会開催
- よんごやんやん事件
- 知事選挙 三浦博生選
- 外倉山スライムの営業開始



昭和50年10月 町制施行20周年記念式典



昭和50年5月 町診療所全面改築



昭和47年6月 町保養センター及び勤労青少年体育館センター完成



昭和53年7月 高津津発電所発電開始



昭和51年6月 苗場山自然休養林指定



昭和48年7月 青少年旅行村開村

53

1978

52

1977

51

1976

昭和 50年

1975

48

1973

● 老人医療の無料化実施(70歳以上)

● 町越高津自動車道建設法制定

● 青少年旅行村開村

● 新幹線湯沢駅舎竣工

● 町診療所全面改築

● 町制施行20周年記念式典

● 温泉湯中管理事業竣工

● 苗場山自然休養林指定

● 老人・身障者バス専用路線

● 三國小学校複合分校完成

● 民俗資料館開館

● 町越高津自動車道開通(トキエ橋上り)

● 神立小学校舎完成

● 県立湯沢高等学校募足

● 土樽保育所開設

● 湯沢町誌発行

昭和46年

● 湯沢町立湯沢児童館

● 湯沢市立バス専用路線

● 上越幹線幹線工事

昭和47年

● 第一次、第二次国中角染内閣

● 湯沢町立初心寺小学

● ジンダが上野動物園に

昭和48年

● 中東四国対戦争、オイルショック、トイレットペーパー騒動

● 江崎幹政参氏にノーベル物理学賞

● 新潟「ハルマ」道路開通

昭和49年

● 二本木式内閣

● 超能力ブーム

● 長崎高層引越

● 佐藤栄作副首相にノーベル平和賞

昭和50年

● 知事選挙、君徳野郎当選

● 沖崎海岸開港

● 湯沢町誌発行

● 県人口三十九万九千八百八十八人

昭和51年

● 福田義夫内閣

● 愛知三十八歳若上内閣

● 県史編さん事業始まる

昭和52年

● 正月に豪雪、年賀状の配達遅配

昭和53年

● 第一次大分・正房内閣

● 成田空港開港

● 知事選挙、君徳野郎当選



昭和57年11月 上越新幹線大宮駅一新潟駅間暫定開業



昭和54年1月 新幹線大宮水トンネル貫通式



昭和50年 50歳雪



昭和59年11月
湯沢町歴史民俗資料館オープン



昭和58年6月
中央公園テニスコート完成



昭和58年6月 中央公園野球場完成

58

1983

57

1982

56

1981

昭和
55年

1980

54

1979

- 一月 ● 新幹線大宮水トンネル貫通式
- 二月 ● 土浦小学校舎完成
- 三月 ● 老人館の仮開設
- 四月 ● 湯沢小学校舎完成
- 五月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 六月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 七月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 八月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 九月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 十月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 十一月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 十二月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 一月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 二月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 三月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 四月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 五月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 六月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 七月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 八月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 九月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 十月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 十一月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 十二月 ● 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園

世の中の出来事

- 昭和54年
 - 第三次大正芳内閣
 - 第五回衆議院議員総選挙
 - 東京マシソンビルビル
 - 第二次オイルショック
 - 上越新幹線の大宮水トンネル貫通
 - 新潟工科大学創立
- 昭和55年
 - 鈴木善幸内閣
 - 第十二回衆議院議員総選挙
 - 東京マシソンビルビル
 - インドネシア全面戦争
 - 動物園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 昭和56年
 - 福田繁雄一立大教授イニ
 - 化学賞
 - 米、スウェーデン、トルコ打上げ
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 昭和57年
 - 第一次中曽根康弘内閣
 - 第五回衆議院議員総選挙
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 昭和58年
 - 第二次中曽根康弘内閣
 - 東京マシソンビルビル
 - 日本海中部地震(M7.7)
 - 大規模地震、サンフランシスコ
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
- 昭和59年
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園
 - 湯沢高尾高山植物園アルプの里開園

1988

1979



昭和59年11月 開校自動車道湯沢インターチェンジ〜六日町インターチェンジ間オープン



昭和59年6月 中央公園陸上競技場完成



昭和63年6月 湯沢カルチャーセンターオープン



昭和62年5月 湯沢町公民館完成



昭和62年5月 湯沢フィッシングパークオープン



昭和60年10月 町制施行30周年記念式典

昭和 60年

63

1988

62

1987

61

1986

1983

59

1984

六月 ● 湯沢カルチャーセンターオープン

五月 ● 湯沢町公民館完成

五月 ● 湯沢フィッシングパークオープン

四月 ● 町民海外研修制度発足

四月 ● 湯沢町公民館完成

十月 ● 神立高原スキー場、岩原東山チゴドラ開業

十月 ● 湯沢高原レストラン「セントラル」オープン

十月 ● 湯沢共同浴場再建完成

十月 ● 湯沢共同浴場再建完成

十月 ● 町制施行30周年記念式典

十月 ● 湯沢自動車道前橋インターチェンジ、湯沢インターチェンジ間開通により全線開通

三月 ● 上越新幹線上野駅開業

三月 ● 湯沢湯沢駅東口駅前広場完成

六月 ● 湯沢湯沢駅東口駅前広場完成

十月 ● 湯沢自動車道湯沢インターチェンジ、六日町インターチェンジ間オープン

七月 ● 中央公園野球場ナイター照明完成

六月 ● 中央公園陸上競技場完成

四月 ● 湯沢町保健センターオープン

二月・三月 ● 五九空襲

四月 ● 湯沢町保健センターオープン

五月 ● 五九空襲

● 上越新幹線開通記念
新潟博覧会開催

● 三尾島大噴火

昭和59年

● 江崎タリ子商店事件発生

● 森大製菓神田事件発生

● 新1号円丸、五千円丸、千円丸を発行

● 柏崎原発に暴内務の火

昭和60年

● 環礁ふしせ 専売長官死亡

● 日航機が群馬県山中に墜落 (死者五百一人、四人生還)

● つくば85科学万博開催

● 新潟県庁舎が竣工

昭和61年

● 第三次中曽根内閣内閣

● ソ連がアフガニスタンに侵襲

● 大泉町大噴火

● 米、スーパースター爆発 (七人死)

● 車にシートベルトを義務づけ

● 三原山噴火、全住民避難

● 知事選挙、若狭男四選

● 上中越に大雪

昭和62年

● 竹下登内閣

● 国鉄上下分離、民営化

● 村越川堤防にクレーン倒壊、学生死

● 大船橋空機墜落事故

昭和63年

● 甘藷農家の青虫シラカバ開業

● 瀬戸大橋開通

● リックアクト事件発生

● イランイラク戦争終結

● 北陸自動車道全線開通



平成4年7月 レジャープール「オーロラ」オープン



平成3年12月 166人乗り世界最大のロープウェイ完成



平成3年7月 土樽共同浴場「岩の湯」オープン



平成6年12月
下湯沢共同浴場「駒子の湯」オープン



平成6年9月 学校給食センター完成



平成5年10月 浅貝浄化センター供用開始

平成
5年
1993

4
1992

3
1991

2
1990

平成
元
年
1989

- 六月 ● 三頭小学校舎完成
- 十月 ● 公共下水道供用開始
- 九月 ● 湯沢中学校分校ラッシュ導入
- 十二月 ● ガイラ湯沢スキー場オープン
- 二月 ● 柳山スキーセンタースキー場オープン
- 六月 ● 上越新幹線東京乗り入れ
- 七月 ● 土樽共同浴場「岩の湯」オープン
- 十月 ● 湯沢町総合福祉センターオープン
- 十月 ● 関越トンネル4車線供用開始
- 十二月 ● 166人乗り世界最大のロープウェイ完成
- 一月 ● 南魚沼市湯沢消防署新築移転
- 四月 ● 旭屋福祉工場オープン
- 七月 ● レジテール「オーロラ」オープン
- 十月 ● 奥湯沢第一発電所設置着工
- 十一月 ● ナスノスキーリゾートオープン
- 一月 ● 駅前土地区画整理事業完了
- 三月 ● 湯沢町消防団消防団長官舎移転受賞
- 十月 ● 浅貝浄化センター供用開始

世の中の出発点

- 平成元年
 - 昭和三十四年改定 平成と改元
 - 宇野宗佑内閣
 - 第一次海部俊樹内閣
 - 消費税3%が導入
 - 中国、天安門事件
 - ベトナムの解党
 - ステラ島でオーストラリア国会議
 - (東西冷戦の終結)
 - 横浜ベイブリッジ開通
 - 知事選挙、金子清史選
- 平成2年
 - 第三次海部俊樹内閣
 - 札幌さきもと川崎昭子さまご成婚
 - 東西リース統一
 - 天皇即位祝礼
 - プルハナチラ大統領にノーベル平和賞
 - 国勢調査
 - 県人口一四七万四千五百三十八人
- 平成3年
 - 宮沢喜一内閣
 - 湯沢町争議発一〇月八日終結
 - 長崎空襲の被害追悼式
 - 大次幹彦誕生 死行方不明者(七十八人)
 - ソ連邦解体、ソ連共産党の崩壊
- 平成4年
 - トク0の操作方法可決
 - 学校五日制授業スタート
 - 毛利町飛行場「オーストリア」で完成
 - 日本人平均寿命世界一に
 - 知事選挙、平山桂夫当選
- 平成5年
 - 堀川源蔵内閣
 - 誤除件地産発生 費度6



平成8年3月 三根共同浴場「街道の湯」オープン



平成7年10月 町制施行40周年記念式典



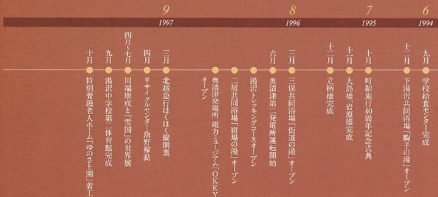
平成9年3月 北陸新行ほくほく線開業



平成8年6月 二根共同浴場「宿場の湯」オープン



平成8年6月 湯沢トレッキングコースオープン



- 早大女子と小和田隆子さまへ婚約
 - サッカーリーグ開幕
 - 戦後最悪凶年ぶり不作で、米を緊急輸入
- 平成6年
- 封田茂内閣 村山富市内閣
 - 大江隆三・三好アキ・元文字直
 - 農政審議会 食糧管理法廃止を提言
 - 純国産ロケット自2打ち上げに成功
 - 松本サリン事件発生
 - 岡井千尋が8年ぶり帰国
 - 早大女子と小和田隆子さまへ求婚
 - 新潟国際情報大学、新潟経営大学、長岡造形大学を開設
- 平成5年
- 阪神淡路大震災発生(死者行方不明者六四一三人、負傷者四二八〇〇人)
 - 東京都地下鉄で有毒ガスサリン発生
 - 国勢調査
 - 朝日社「西八万八、三六萬人」
- 平成4年
- 第一次標準本部内閣
 - 早稲田大学総選挙で問題
 - 病源性大腸菌O157大暴発
 - 日本大扶公認入賞事件
 - 知事選挙、平山正徳再選
 - 第二次標準本部内閣
- 平成3年
- 消費税を5%引き上げ
 - 香浜、中国に帰還
 - 島根県でセンター「サホトカ号」開校



平成14年8月 「高沢町保健医療センター」オープン



平成10年4月 山鳥原公園開園



平成14年9月 第1回秋桜ハーフマラソン開催



平成10年6月 越前陶芸工房オープン

平成
10年
1998

13
2007

12
2000

11
1999

二月 ● 長野オリンピックに折田賢太郎さんと
柏木久美子さんが出場

四月 ● 山鳥原公園開園

六月 ● 越前陶芸工房オープン

十月 ● 特別養護老人ホーム「のちのち園」オープン

十二月 ● 役場庁舎のメモリータワー完成

三月 ● 川福底成生誕100年記念

六月 ● 穴沓河川公園緑地供用開始

七月 ● 五三三のふもと三苗場での開催始まる

十月 ● 湯沢中学校40周年記念式典

十月 ● 都市計画税廃止

十二月 ● 国道17号湯沢インターチェンジ付近4車
線併用開始
● 湯沢市役所開館

二月 ● 湯沢花のまちコンテスト開催

一月 ● 戸籍総合システム(戸籍の電子化)稼働

六月 ● 湯沢町保健医療センター建設着工

十月 ● 国道17号湯沢インターチェンジ付近4車
線全部供用開始

十二月 ● 町営原野田団地B戸(4棟)建て替え
● 苗場トランドウ開業

世の中の出来事

平成10年

● 第十八回冬季オリンピック

● 長野大会開催

● 小淵恵二四郎

● 北朝鮮ミサイル二発発射後韓
● 北朝鮮ミサイル二発発射後韓
● 北朝鮮ミサイル二発発射後韓

● 相模山さしき 高物落下事件

平成13年

● コンビニの1000年問題が
● コンビニの1000年問題が
● コンビニの1000年問題が

● 九州早稲田賞争奪人王(日笠星)
● 九州早稲田賞争奪人王(日笠星)
● 九州早稲田賞争奪人王(日笠星)

● 国家公務員法改正
● 国家公務員法改正
● 国家公務員法改正

● 新潟中央銀行の経営破綻
● 新潟中央銀行の経営破綻
● 新潟中央銀行の経営破綻

平成19年

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ

● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ
● 三美市の行方不明少女9年ぶ



平成16年7月 沼沢中学校生徒海外派遣事業開始、アメリカ合衆国マヅナへ18名



平成16年7月 体狭工房「大源太」オープン



平成15年7月 足湯、ポケットパークオープン



平成16年8月 東橋竣工開通式



平成15年8月 第54回新潟県消防大会が沼沢町で開催

平成15年

16
2004

2003

14
2002

- 二月 ● ソフトレイクオリシタに菅山賢太郎さん、船木久美子さん、下山研朗さんが出場
- 八月 ● 「沼沢町郵便歴史センター」オープン
- 九月 ● 第1回秋祭(3日、5日、6日)を開催
- 十月 ● 上越新聞開業20周年
- 町営沼新田団地8戸(4棟)建て替え
- 七月 ● 足湯、ポケットパークオープン
- 八月 ● 第54回新潟県消防大会が沼沢町で開催
- 十月 ● 上中子(かみなま)二団地分譲開始
- 四月 ● 広域連合「環境衛生センター」が沼沢町(11月1日)以降南魚沼市に完成
- 七月 ● 体狭工房「大源太」オープン
- 沼沢中学校生徒海外派遣事業開始、アメリカ合衆国マヅナへ18名
- 八月 ● 東(あずま)橋竣工開通式
- 十月 ● 新潟県中越大地震発生
- 沼沢町経済復興対策委員会設置、被災風評被害対策に当たる
- 町営沼新田団地4戸(2棟)建て替え完了

平成14年

- 日韓両国サッカー杯開催(沼沢も出場)
- 初の日朝首脳会談開催
- 拉致被害者、韓人2人を含む5人が帰国
- 小室昌久氏(元)が物理学者
- 田中康一氏(元)が化学賞

平成15年

- イタダ戦争遺愛ついでに政機の前橋一
- 住居基本台帳ネットワーク本格稼働
- 第一次小泉統一党内閣
- イタダ復興支援特別措置法成立、自衛隊派兵
- 嵐神タイガース、十八年ぶりのセリーグ優勝
- アニメーション賞「沼」シリーズ優勝(「1」昇格決定)

平成16年

- 拉致被害者家族が帰国
- 天皇皇太后ご即位奉告式
- 白尾上陸史上最多の記録
- 集中豪雨により全自治約に被害
- 自衛隊、第一次イタダ派遣隊
- 知事選挙、泉田博在当選
- 震度7の新潟県中越地震発生、多くの被害が出る
- 新子内札、五子内札、一万内札発行
- ゴールデン劇場大津波で犠牲者「1」万人



平成17年7月 町制施行50周年記念「NHKのど自慢」放送



平成17年6月
歴史民俗資料館「雪国館」リニューアルオープン



平成17年8月 アメリカ合衆国マブナからのホームステイ受入開始。学生等11名来町

平成
20年
2008

19
2007

18
2006

17
2005

六月 ● 歴史民俗資料館「雪国館」リニューアルオープン

● アメリカ合衆国マブナからのホームステイ受入開始。学生等11名来町

七月 ● 町制施行50周年記念「NHKのど自慢」放送

十月 ● 町制施行50周年記念式典
「ありがとう湯沢の日」制定

十一月 ● 湯沢町業務改善費賦課金徴収開始

一月 ● 更なる防犯意識を醸成するため「湯沢町
豪雪災害対策本部」に改組

● 陸上自衛隊高田駐屯地隊員及び県内消防団員から除雪協力

二月 ● トリオオリンピック回転滑川賢太郎さん
4人賞入賞

七月 ● 特別観光大使に加山雄三さん委嘱

十月 ● 特別観光大使に折川賢太郎さん委嘱

● 異常少雪

一月 ● 群馬県雄物山と黄舎峠相互援助協定締結

七月 ● 新潟県中越沖地震発生

二月 ● インターハイウェイ大会が湯沢町で開催

十月 ● 雪国観光圏が国土交通省「観光先行」より認定される

世の中の出来事

平成17年

● 愛知万博開催

● ベイラー全額償還

● 個人信託法関連修正法施行

● リビエラ・同時多発テロイタダの嵐連続

● フクはまろしる開業

● 第三次小泉純一郎内閣

● 国勢調査

● 県人口 1,021万 1,045,919人

平成18年

● ランドマーク事件

● 日本郵政株式会社発足

● WBC 第一種大会で日本が世界一に

● 耐震強度偽装事件

● 秋篠宮家と男子誕生

● 第一次安倍内閣

● 北朝鮮が地下核実験を実施

平成19年

● 徳島県庁舎に火災

● 新潟市を政令指定都市に指定

● 万経産省（I-P-S）組織を創設に成功

● 奥秩父の新潟中越沖地震発生

● 福田康夫内閣

平成20年

● 後援高齢者医療制度開始

● 秋葉原無差別殺人事件発生

● 中国冷凍餃子による食中毒発生

● リーマンショック

● 麻生太郎内閣

● 南都宮一館 小林誠 特別演説

● 2011年「ノーベル物理学賞」

● 下村博氏が「元」化学賞



平成17年10月 「ありがとう湯沢の日」制定



平成17年10月 町制施行50周年記念式典



平成18年7月
特別観光大使に松山謙三さん委嘱



平成18年1月 更なる降雪が予想されるため「湯沢町災害対策本部」に各校
陸上自衛隊高田駐屯地隊員及び県内消防団員から除雪協力



平成20年2月
インターハイスキー大会が湯沢町で開催



平成20年10月 湯沢観光圏の国土交通省
(観光庁)より認定される



平成15年11月 特別観光大使に富山賢太郎さん委嘱



平成21年7月 JIは越後湯沢駅02広域観光情報センター（観光種認定案内所）オープン



平成21年8月 特別観光大使に前田博昭さん委嘱



平成21年 トホめき新潟国体冬季大会が湯沢町で開催

24 2012 23 2011 22 2010 21 2009

- 二月 ● トホめき新潟国体冬季大会が湯沢町で開催
- 七月 ● JIは越後湯沢駅02広域観光情報センター（観光種認定案内所）オープン
- 八月 ● 特別観光大使に前田博昭さん委嘱
- 十月 ● 湯沢中学校統合50周年記念式典
- 十一月 ● 勤労青少年体育センターを取り壊し
- 四月 ● 湯沢中央公園に足湯がオープン
- 五月 ● 第一回越後湯沢マラソンスタート開催
- 六月 ● 非核平和都市宣言
- 十月 ● 中国旅客は運活動第一回訪問団（18名派遣）
- 二月 ● 東日本大震災発生（避難者受け入れ）
- 四月 ● 湯沢町まらぶくり基本条例制定
- 七月 ● 秋田県湯沢市と英字補助標準規格
- 一月 ● 湯沢町豪雪対策本部設置
- 一月 ● 湯沢町総合型地域スポーツクラブ「ニースホ」発足
- 二月 ● 湯沢町衛生組合解散
- 七月 ● アメリカ合衆国マダナと姉妹都市協定調印
- 八月 ● インターハイ登山大会が湯沢町で開催
- 十月 ● 埼玉県忍伏町と災害援助協定締結
- 統合文教施設（湯沢学園）起工式

世の中の出来事

- 平成21年
 - 茂田由噴水
 - 教育施設改善がスタート
 - 日本文化界が互の甲子園大会を結核の学術博に
 - 衆院選で民主党が勝利、政権交代
 - 湯山社大内閣
 - 第六十四回国体が新潟で開催
- 平成20年
 - 日本人内閣
 - 高湯温泉無煙化社会実験開始
 - 衆院選で民主党が大敗、森が総理
 - 国勢調査
 - 国勢調査
 - 県人口一七万四、四五〇人
 - 県民一と湯本町の両氏が一べ化学賞
- 平成19年
 - 東電電力福島原発で炉心溶融
 - 小笠原諸島、世界自然遺産に登録
 - 平泉、世界文化遺産に登録
 - サッカー女子W杯でなでしこジャパンが世界一に
 - アレシオアチが就任
 - 新幹線、湯田原駅が営業開始
 - 野田博成内閣
- 平成24年
 - 自然エネルギー三十二年よりトホめきが発足
 - 国内の原発が安全停止
 - 東京メトロ有明線開業
 - 去開湯湯山有明化
 - 六十五歳以上の人口が三千万人を超える
 - 日本郵政株式会社発足
 - 山中伸弥氏にノーベル賞授与
 - 第三次安倍内閣



平成22年5月 第1回経後湯沢ユニバーサルウォーク開催



平成22年4月 湯沢中央公園に足湯がオープン



平成24年2月 湯沢町総合型地域スポーツクラブ「ユースの」免足



平成22年11月
中国訪客促進活動第1回訪問団(18名)派遣



平成24年8月 インターハイ登山大会が湯沢町で開催



平成24年7月 アメリカ合衆国マグナと姉妹都市協定調印



平成25年9月 新国立インキル起工式



平成25年11月 「道の駅みつまた」オープン



平成25年7月 アメリカ合衆国マグナとの行政交流 姉妹都市協定調印記念植樹式を開催、
現地中学校等に植樹

平成
25年

2014

2013

- 一月 ● 東京電力株式会社と相模村町原子力発電所
に係る住民の安全確保に関する協定締結
- 七月 ● アメリカ合衆国ワタソの行政交流
姉妹都市協定調印記念植樹式を開催
現地中学校等に植樹
- 九月 ● 新二国トンネル起工式
- 十月 ● 三國小学校閉校記念式典
湯沢中学校舎お別れ記念式典
- 十月 ● 土樽小学校閉校記念式典
- 十月 ● 神立小学校閉校記念式典
二俣小学校閉校記念式典
- 湯沢小学校舎お別れ記念式典
「道の駅みつまた」オープン
- 長岡技術科学大学・湯沢町商工会との
包括的連携協定を締結
- 十一月 ● 第一回湯沢町教育フェスティバル
- 三月 ● 森林整備推進協定締結
- 四月 ● 湯沢学園朝校(小中学校体育館)
田小学校5校の校歌を湯沢町無形文化
財に認定
- 「富国感懐湯沢車両線」バリ特別展開催
に決定
- 七月 ● アカシエキ・W杯2016延期開催が決定
- 八月 ● アメリカ合衆国ワタソとの行政交流
「ラ州記念セミナー」に町長出席

世の中の出来事

- 平成25年
 - アカシエキ入賞車両で邦人7人の死に確認
 - 富士山が世界文化遺産登録
 - 豊岡藩で自民・公明両党が選挙
数を獲得、むじろ国會議員へ
 - 二〇一〇年夏季オリンピックの
東京開催が決定
 - 新潟史上初の田日の猛暑日を
乗用車で記録
 - 若田光一飛行士が日本人初の
ISS船長として宇宙へ
- 平成26年
 - STAP問題論文に不正発覚
 - 消費税8%に引き上げ
 - 高岡製糸場が世界文化遺産に
登録
 - 御嶽山噴火
 - (死者五十七人) 行方不明者
六人
 - 赤崎典夫野田中村隆三の
長崎アヘン博物館開館
 - 相模がユネスコ無形文化遺産
に登録
- 平成27年
 - 長野自動車道を全線開通
 - 百部高の中央環状線が全線
開通
 - 北陸新幹線の全穴・富山・長野
間が開業
 - 丁及重富の寺が世界遺産登録
一時取り消されを達成
 - 明治日本の産業革命遺産が
世界文化遺産登録
 - 梶田隆章氏にノーベル物理
学賞
 - 大村智氏にノーベル生理学・医
学賞
 - 第二次安倍内閣



平成26年4月
湯沢学園高校(小中学校舎棟・体育館)



平成26年4月
「富田益味湯沢商業画廊」の特別展開催



平成27年7月 アメリカ合衆国マグナとの行政交流
ユタ州記念セミナーに町長出席



平成26年9月 湯沢学園開校記念式典開催



平成27年7月 アメリカ合衆国マグナとの行政交流
純粋都市協定調印記念植樹式を開催、湯沢学園に植樹



平成25年12月 第1回湯沢町教育フェスティバル



平成26年7月 アルペンスキー
W杯2016会場開催が決定

27

2013

- 七月 ● アメリカ合衆国マグナとの行政交流
純粋都市協定調印記念植樹式を開催、
湯沢学園に植樹
- 三月 ● 北越急行はくはく線「特急はくたか号」
廃止
- 二月 ● 南魚沼市・魚沼市・湯沢町による新「えち
り野」建設に関する基本合意書の調印
- 九月 ● 湯沢学園開校記念式典開催



行政・議会の歩み

湯沢町の町政を担う行政と議会。

歴代三役に教育長、議長、副議長をはじめとする議員により、さまざまな課題に取り組んできました。

ここでは湯沢町町政のために尽力された方々の移り変わりを綴って行きます。

◆歴代助役・副町長

歴代	氏名	在任期間
初代	南雲 一郎	昭和30年5月17日～昭和38年5月19日
2代	高橋 好政	昭和38年5月24日～昭和41年3月31日
3代	南雲 一郎	昭和41年6月29日～昭和45年6月28日
4代	南雲 喜一郎	昭和45年6月29日～昭和51年9月31日
5代	小澤 重良	昭和51年10月14日～昭和55年10月13日
6代	南雲 幸蔵	昭和55年12月2日～昭和61年1月25日
7代	樋口 英健	昭和61年3月19日～平成2年3月18日
8代	南雲 武良	平成2年5月8日～平成10年5月7日
9代	池田 祥一	平成10年5月8日～平成18年5月7日
10代	佐久間 純良	平成18年5月8日～平成22年5月7日
11代	山本 茂正	平成22年7月26日～平成26年3月31日
12代	平澤 誠治	平成26年4月1日～現在に至る

◆歴代教育長

歴代	氏名	在任期間
初代	原沢 政五郎	昭和32年5月10日～昭和39年3月31日
2代	小澤 重良	昭和39年4月1日～昭和43年9月30日
3代	高橋 伝佐工門	昭和43年10月9日～昭和47年10月8日
4代	森下 善隆	昭和47年10月9日～昭和51年10月8日
5代	南雲 喜一郎	昭和52年1月1日～昭和59年10月8日
6代	上村 吉明	昭和59年10月9日～平成4年10月8日
7代	池田 祥一	平成4年10月9日～平成10年5月7日
8代	折原 明彦	平成10年6月19日～平成16年10月8日
9代	樋口 俊治	平成16年10月9日～平成20年10月8日
10代	清水 謙夫	平成21年4月6日～現在に至る

◆歴代町長

歴代	氏名	在任期間
初代	青谷 虎繁	昭和30年4月30日～昭和43年7月6日
2代	高橋 好政	昭和43年8月10日～昭和51年8月8日
3代	森下 菊二	昭和51年8月10日～昭和61年1月1日
4代	南雲 幸蔵	昭和61年2月6日～平成元年11月30日
5代	村山 隆征	平成元年12月10日～平成17年12月9日
6代	上村 清隆	平成17年12月10日～平成25年12月9日
7代	田村 正幸	平成25年12月10日～現在に至る

◆歴代収入役

歴代	氏名	在任期間
初代	樋口 行雄	昭和30年5月17日～昭和38年5月19日
2代	南雲 一郎	昭和38年5月24日～昭和41年6月29日
3代	上村 達雄	昭和41年8月1日～昭和45年7月31日
4代	枝田 常治	昭和45年8月1日～昭和51年11月1日
5代	森下 善隆	昭和52年1月1日～昭和63年12月31日
6代	南雲 武良	平成元年3月24日～平成2年5月7日
7代	樋口 昌保	平成2年5月8日～平成10年5月7日
8代	南雲 宗雄	平成10年5月8日～平成18年3月31日

◆歴代副議長

歴代	氏名	在任期間
初代	南雲 哲太郎	昭和30年5月17日～昭和33年6月28日
2代	富沢 安晴	昭和33年6月30日～昭和34年4月30日
3代	堀持 寅治郎	昭和34年5月20日～昭和38年4月29日
4代	森下 菊二	昭和38年5月20日～昭和42年4月29日
5代	神保 二郎	昭和42年5月12日～昭和43年8月23日
6代	藤越 包雄	昭和43年8月23日～昭和49年7月25日
7代	堀持 善正	昭和49年8月7日～昭和50年4月29日
8代	林 三郎	昭和50年5月7日～昭和54年4月29日
9代	高野 七郎	昭和54年5月4日～昭和58年4月29日
10代	内藤 宏	昭和58年5月4日～昭和62年4月29日
11代	樋口 庄次郎	昭和62年5月6日～平成3年4月29日
12代	高橋 和一郎	平成3年5月7日～平成7年4月29日
13代	池田 宏	平成7年5月8日～平成11年4月29日
14代	長谷川 晴次	平成11年5月7日～平成15年4月29日
15代	半澤 利貞	平成15年5月7日～平成18年2月27日
16代	田村 計久	平成18年3月7日～平成19年4月29日
17代	高橋 博幸	平成19年5月7日～平成21年1月26日
18代	藤 田 保	平成21年3月9日～現在に至る

◆歴代議長

歴代	氏名	在任期間
初代	高橋 半左門	昭和30年5月17日～昭和38年4月29日
2代	高橋 敬一郎	昭和38年5月20日～昭和42年4月29日
3代	森 正廣	昭和42年5月12日～昭和43年7月22日
4代	神保 二郎	昭和43年8月23日～昭和46年4月29日
5代	南雲 晴政	昭和46年5月7日～昭和54年4月29日
6代	田村 正雄	昭和54年5月4日～昭和58年4月29日
7代	高野 七郎	昭和58年5月4日～昭和62年4月29日
8代	村山 隆征	昭和62年5月6日～平成元年12月5日
9代	高野 益賢	平成元年12月12日～平成3年4月29日
10代	高野 常久	平成3年5月7日～平成7年4月29日
11代	山本 邦悦	平成7年5月8日～平成15年4月29日
12代	高野 榮司	平成15年5月7日～平成23年4月29日
13代	田村 正幸	平成23年5月9日～平成25年7月22日
14代	南雲 正	平成25年7月24日～現在に至る

◆歴代議員

●任期昭和33年4月30日～昭和34年4月29日

高野 茂作	山井 安徳	堀持 善一郎
大津 寅彦	南雲 清一郎	南雲 令雄
岸野 高一	上村 徳美	南雲 昭太郎
井口 貞則	長谷川 晴次	堀持 寅治郎
高橋 正街	上村 清作	森下 菊二
林 寅之助	原 沢 一	油田 清治
堀 一夫	池田 博	森下 基一
藤村 松門	富沢 安晴	高野 善吉
田村 松樹	富沢 善治郎	富沢 善男
佐藤 公平	高橋 源次	高野 善三郎

●任期昭和34年4月30日～昭和35年4月29日

藤村 松門	森下 文平	高橋 善太郎
新井 寅治郎	南雲 清一郎	油田 清治
小野 徳治郎	井口 貞則	高橋 善一郎
桑原 正広	小沢 良太郎	牛木 幸一
塩原 公平	林 深	高橋 善一郎
大橋 清作	南雲 善治郎	藤田 松門
木下 信次	角 善梅夫	
上村 清作	森下 菊二	

●任期昭和35年5月1日～昭和36年4月29日

高橋 敬一郎	高橋 善治	南雲 半左門
森下 菊二	山井 弘	林 深
藤越 包雄	長 貞三	高野 七郎
富沢 善三郎	神保 二郎	高橋 善三郎
高橋 善一郎	堀持 善正	林 三郎
木下 信次	田村 正雄	佐藤 公平
上村 徳美	南雲 昭太郎	
高橋 良典	長谷川 晴次	

●任期昭和36年4月30日～昭和37年4月29日

中村 昭一郎	高橋 正幸	高野 七郎
林 三郎	南雲 安治	半澤 利貞
富沢 善三郎	池田 英夫	高野 常久
田村 正雄	村山 隆征	富沢 善治
油田 忠二	高橋 善次	河井 善正
樋口 庄次郎	林 深	富沢 善
内藤 宏	南雲 正	高橋 好彦
南雲 賢	高橋 好彦	

●任期昭和37年4月30日～昭和38年4月29日

高野 善三郎	高橋 善三郎	長 貞三
高橋 新美	牛木 新作	南雲 晴政
高橋 良作	上村 徳治	森下 一
木下 信次	長谷川 晴次	林 三郎
山井 安徳	森下 菊二	神保 二郎
藤越 包雄	高橋 敬一郎	南雲 昭太郎
中村 昭一郎	富沢 善三郎	
藤村 松門	高野 善三郎	

●任期昭和38年4月30日～昭和39年4月29日

高橋 善三郎	藤越 善作	木下 信次
富沢 善三郎	堀持 善正	南雲 安治
林 三郎	今村 久作	長谷川 晴次
南雲 晴政	森下 一	高野 七郎
高橋 善三郎	森下 菊二	高野 七郎
安部 正広	高野 善三郎	高橋 善三郎
田村 弘	富沢 善正	中村 昭一郎
山井 弘	角 善梅夫	藤越 包雄

●任期昭和39年4月30日～昭和40年4月29日

林 三郎	森下 一	内藤 宏
高野 七郎	今村 久作	南雲 晴政
長谷川 晴次	南雲 安治	林 深
高橋 善三郎	高橋 好彦	高野 善三郎
上村 徳治	原野 利興	南雲 賢
富沢 善三郎	木下 信次	富沢 善三郎
山井 弘	高橋 善次	中村 昭一郎

●任期昭和40年4月30日～昭和41年4月29日

中村 昭一郎	高橋 正幸	高野 七郎
林 三郎	南雲 安治	半澤 利貞
富沢 善三郎	池田 英夫	高野 常久
田村 正雄	村山 隆征	富沢 善治
油田 忠二	高橋 善次	河井 善正
樋口 庄次郎	林 深	富沢 善
内藤 宏	南雲 正	高橋 好彦
南雲 賢	高橋 好彦	

●任期昭和40年4月30日～昭和41年4月29日

森下 俊雄	村山 隆征	高橋 好彦
安部 昭	半澤 利貞	南雲 賢
南雲 善三郎	富沢 善正	内藤 宏
半澤 善三郎	高野 常久	田村 正雄
高野 益賢	河井 善正	高野 七郎
富沢 善三郎	樋口 庄次郎	中村 昭一郎
高橋 敬一郎	高橋 善次	

●任期昭和41年4月30日～平成2年4月29日

油田 忠二	高野 益賢	内藤 宏
山本 邦悦	半澤 利貞	田村 正雄
高橋 善三郎	富沢 善正	高野 七郎
高橋 敬一郎	高野 常久	林 三郎
森下 俊雄	河井 善正	樋口 庄次郎
安部 昭	高橋 好彦	村山 隆征
南雲 善三郎	南雲 賢	

●任期昭和42年4月30日～平成7年4月29日

長谷川 晴次	高橋 敬一郎	富沢 善
足立 二郎	油田 忠二	南雲 賢
南雲 善三郎	山本 邦悦	内藤 宏
長谷川 晴次	高野 常久	林 三郎
樋口 庄次郎	安部 昭	高橋 好一郎
北本 吉治	南雲 善三郎	高野 常久
高野 久也	半澤 利貞	

●任期昭和43年4月30日～平成19年4月29日

寺本 一郎	宮田 學	富沢 善
長谷川 晴次	長谷川 晴次	中村 昭一郎
高野 常久	高橋 敬一郎	南雲 賢
藤越 包雄	樋口 庄次郎	林 三郎
高橋 善三郎	北本 吉治	油田 忠二
高野 常久	高橋 敬一郎	山本 邦悦
岸野 利貞	半澤 利貞	

●任期平成11年4月30日～平成15年4月29日

南雲 善三郎	佐藤 守正	油田 忠二
高橋 善三郎	藤川 弘美	半澤 利貞
田村 正幸	高野 常久	富沢 善
田村 計久	高橋 善治	南雲 賢
井口 智晴	高野 善三	長谷川 晴次
山井 邦起	田村 正雄	山本 邦悦
森下 善次	樋口 庄次郎	

●任期平成15年4月30日～平成19年4月29日

南雲 和夫	田村 計久	長谷川 晴次
今村 定一	井口 智晴	油田 忠二
藤田 保	森下 善次	半澤 利貞
南雲 正幸	佐藤 守正	高野 常久
高橋 善三郎	藤川 弘美	
田村 正幸	高橋 善治	

●任期平成19年4月30日～平成23年4月29日

南雲 正	田村 計久	高橋 善三郎
南雲 和夫	森下 善次	高野 常久
今村 定一	佐藤 守正	高野 常久
藤田 保	高橋 善治	
田村 正幸	半澤 利貞	

●任期平成23年4月30日～平成25年7月22日

岸野 利貞	宮田 誠子	藤田 保
高橋 善三郎	南雲 正	田村 正幸
角 善 勉	今村 定一	高橋 善三郎
山井 善雄	佐藤 守正	
田 忠夫	半澤 利貞	

●任期平成25年7月24日～現在に至る

山本 利彦	山本 忠夫	藤越 包雄
高橋 善三郎	高橋 善三郎	南雲 賢
高橋 善三郎	宮田 誠子	
岸野 利貞	田村 計久	
角 善 勉	佐藤 守正	

「わたしたちのねがい」

湯沢町民憲章

美しい自然に生まれ育まれた雪のまち湯沢

きよらかな愛情あふれるまち

すこやかな活力みなぎるまち

さわやかな誰もが訪れたいまち

みんなを力をあわせ

豊かで明るく住みよい

文化の香り高い町をうくりましょう



町章

昭和40年12月に制定



町の木「ハニヤマザクラ」

昭和48年5月に指定



町の花「コスモス」

平成3年3月に指定

- 発行/平成27年12月
- 編集/湯沢町 総務部 総務管理課
〒949-6192 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL.025-784-3451(代表) FAX.025-784-1818
<http://www.town.yuzawa.lg.jp/>
- 写真提供/写真のタカハシ
- 印刷/三条印刷株式会社